

2024年度事業計画

3月11日の理事会において、2024年度事業計画が承認されました。

1. 航空フォワーダー事業等に関する情報発信、広報等 (定款第4条 (5) 関係)

- 会員企業による国際・国内航空貨物の取扱実績の集約と対外発信
- JAFANA ニュースの定期発行
- 協会ホームページや JAFANA ニュース等を通じた、協会の活動状況や業界動向の対外発信
- 協会ホームページ会員ページ掲載やメール配信を通じた、航空フォワーダー事業等に関連する各種情報の会員への提供
- 会員の人材確保に資する航空フォワーダー業界の魅力の発信

2. 航空フォワーダー事業等に関する教育訓練の実施 (定款第4条 (2)・(3) 関係)

- 国際・国内航空貨物業務に関する業界新入者向け基礎講習会の実施
- IATA (The International Air Transport Association) ディプロマ試験の合格率向上を目指した事前講習会の実施
- IATA の CBTA プロバイダーとしての航空危険物取扱教育訓練の実施
- 認定保安教育訓練支援機関としての会員企業等従業員に対する教育訓練の実施

3. 航空フォワーダー事業等に関する安全性の向上を図るための取り組み (定款第4条 (2) 関係)

- IATA の CBTA プロバイダーとしての航空危険物取扱教育訓練の実施 (再掲)
- 認定保安教育訓練支援機関としての会員企業等の従業員に対する教

育訓練の実施 (再掲)

- KS/RA 制度や航空保安対策基準の見直しに関する国土交通省との協議・調整
- 無申告危険物搭載防止キャンペーン等の実施
- その他、会員企業や荷主企業の従業員に対する危険物取扱に関する啓発活動の実施

4. その他、航空フォワーダー事業等のサービスの高度化等 (定款第4条 (1) 関係)

- 航空フォワーダー業務のデジタル化や、SAF 燃料の導入等環境負荷軽減に関する動向についての情報収集と、課題解決に向けた取り組みの実施
- 越境 EC 事業者に対する貿易実務や梱包及び危険品取扱に関する啓発活動の実施
- 国内航空貨物事業のペーパーレス化及びデジタル化の推進
- 2024年問題に関する行政・業界動向や、会員企業における取り組みに係る情報収集と会員企業への提供

5. 航空フォワーダー事業等に関する講演会、セミナー等の実施 (定款第4条 (1)・(2)・(3) 関係)

- 会員の事業活動に資する講演会、セミナー等の企画開催
- 国際航空貨物航空会社委員会 (BIAC) との連携による、荷主に対する航空貨物輸送サービスや安全対策に関する啓発活動の実施

6. 航空フォワーダー事業等に関する国際関係機関等との交流・連携 (定款第4条 (6) 関係)

- IATA との連携強化や、IATA が主催する国際会議への参加、情報

収集及び会員への情報提供

- FIATA (The International Federation of Freight Forwarders Associations) 及び FAPAA (Federation of Asia Pacific Air-cargo Associations) が主催する国際会議への参加、情報収集及び会員への情報提供
- その他、航空フォワーダー事業等に関連する国際関係機関等との交流・連携の促進

7. 航空貨物の通関に関する取り組み (定款第4条 (4) 関係)

- 通関制度の動向に関する情報収集と、通関業務の改善や円滑化に関する関係機関との協議・連携
- 通関関連の法令遵守に係る会員及び荷主への啓発活動
- 通関業務に関する法令順守や密輸防止に関するキャンペーン実施及びセミナー開催
- NACCS の円滑な運営・システム改善に関する関係機関との連携
- 通関士の地位向上等に向けた方策の検討

8. 関係機関等との連携 (定款第4条 (7) 関係)

- 航空フォワーダー事業等に関し、関係行政機関、BIAC 等航空関係団体、航空会社、空港会社、関係自治体等との意見交換や情報共有の実施

9. 事務局の運営 (定款第4条 (8) 関係)

- 適正コストと体制に基づいた円滑・効率的な協会運営の継続実施
- 協会事務局の事務作業のデジタル化の推進
- 各種規程類等の見直し・改訂

2024 年 IATA トレーニング機関として ATC プレミアに認定

今般、2023 年 1 月～12 月までの受験者数と合格率等が評価され、2024 年の認定トレーニングセンター (ATC = Authorized Training Center) プレミアを継続して獲得しました。2024 年 ATC プレミア認定を受けた団体は世界に 7 団体のみです。

当協会は、引き続き IATA 認定の「ATC プレミア」および「CBTA プロバイダー」として、IATA ディプロマ資格の取得に係る教育訓練を提供し、会員会社の教育訓練を支援してまいります。
(国際教育委員会)



IATA 認定航空危険物取扱資格取得講習会について

当協会では、2023 年 3 月より CBTA プロバイダーとして IATA 認定の航空危険物取扱資格取得講習会を開催しておりますが、2024 年 1 月～3 月の受講者・合格者数および 2023 年度 1 年間の受講者数・合格者数をお知らせします。

2023 年度 (2023 年 4 月～2024 年 3 月) の全てのコースの合格者は、397 名で合格率は 97.3%となりました。これも受講者の方が熱心に講義内容を習得していただいた結果です。

なお、講習会には、80 名近くの会員以外の荷主企業の皆様

にご参加いただき、また、7.2 コースにおいては、400 名を超える国内航空貨物従事者の方々に受講いただきました。

今後は、開催回数も増やして開催してまいりますので、より多くの方にご参加いただき、危険物取扱資格取得を目指していただきますよう、お願いいたします。

この危険物取扱資格取得に関する講習会につきましては、当協会 HP をご覧いただき、ご不明点などメール (kyoiku@jajfa.or.jp) にてお問合せください。
(国際教育委員会)



2024 年 1 月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.1 コース	18	17	94.4%	15	88.2%
7.3 コース イニシャル	18	18	100.0%	15	83.3%
7.3 コース リカレント	13	13	100.0%	13	100.0%
7.2 コース	21	21	100.0%	20	95.2%
合計	70	69	98.6%	63	91.3%

2024 年 2 月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.3 コース イニシャル	12	12	100.0%	7	58.3%
合計	12	12	100.0%	7	58.3%

2024 年 3 月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.1 コース	5	5	100.0%	4	80.0%
7.3 コース イニシャル	37	35	94.6%	25	71.4%
7.3 コース リカレント	15	15	100.0%	14	93.3%
7.2 コース	6	6	100.0%	6	100.0%
合計	63	61	96.8%	49	80.3%

2023 年度 4 月～3 月計	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.1 コース	68	67	98.5%	54	80.6%
7.3 イニシャル	223	214	96.0%	169	79.0%
7.3 リカレント	74	73	98.6%	70	95.9%
7.2 コース	43	43	100.0%	40	93.0%
合計	408	397	97.3%	333	83.9%

2024年1月・3月セッションおよび 年間の IATA 認定国際航空貨物・基礎コース (Cargo Introductory Course) 合格者数について

2024年1月・3月に実施した IATA 認定基礎コース (Cargo Introductory Course) の試験結果と 2023 年度年間 (2023 年 4 月～2024 年 3 月) の試験結果をご案内いたします。(2024 年 3 月試験結果は速報値)

3月の試験では、29名の学生も合格しております。

2023 年度年間では、計 557 名の方が合格され、合格率は 81% (No Show- 欠席としてマークされた方も含む) となりました。合格された方は、この資格を今後の業務にいかしていただければ幸いです。

(国際教育委員会)

2024 年 1 月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注 1)	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
基礎コース	83	73	88.0%	15	20.5%

注1：欠席者含む

2024 年 3 月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注 1)	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
基礎コース	95	79	83.2%	21	26.6%

注1：欠席者含む

2023 年度合計	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注 1)	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
基礎コース	688	557	81.0%	133	23.9%

注1：欠席者含む

【国内部会】国内航空貨物危険物取扱講習会を開催

国内航空貨物危険物取扱講習会を、2024 年 2 月 16 日に WEB および JAF A セミナールームにおいて開催しました。今回のセミナーも WEB を中心に開催したことから、全国各地から 320 名を超える非常に多くの方に参加をいただきました。

今回は講師として、株式会社 ANACargo の担当者および国土交通省航空局安全部の担当官をお迎えし、航空危険物取扱の注意点と無申告危険物の発見事例、撲滅に向けた取り組みや、航空危険物に関わる関係法令、事業者の教育訓練について、講師の方々からの専門的な知見と資料を交えながらわかりやすく解説いただきました。

受講者のアンケートでは、総合評価で 8 割を超える受講者から満足または概ね満足の回答をいただいております。危険物に対する意識の向上と知識の向上に有意義なセミナーになったものと考えております。

当委員会では、今後も航空危険物の適切な取扱いに関する知識の習得や教育、キャンペーン等の啓発活動について、継



続して取組みを実施してまいります。

会員の皆様には各種取組みに積極的にご参加いただき、無申告危険物の撲滅、安全・安心な航空輸送の維持に向け、日々の業務に活かしていただければ幸いです。

(国内業務・教育委員会)

Airport Cargo Eye

北九州空港の物流拠点化の取組について

北九州エアターミナル株式会社
総務部次長

田中 啓之

日頃より、北九州空港の運営に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。

北九州空港では、九州で唯一の貨物定期便が就航し、24時間利用可能な空港として、物流拠点化を進めています。

九州の主要産業である半導体関連、自動車関連では、企業の大型設備投資が進み、今後大きな成長が見込まれる地域として、製品や部品・部材などの輸送拡大が想定されます。

こうした地域のニーズに対応していくために、北九州空港では、貨物便の路線誘致や利用促進のソフト事業に加え、貨物機や航空貨物の受入体制強化、機能強化のハード事業の両面に総合的に取り組んでいます。

①貨物需要に対応する上屋の拡大

貨物取扱量の増加に合わせ、蔵置・荷捌きを可能とする貨物上屋の整備を順次拡大し、今では合わせて3,000㎡を超える上屋が活用されています。軒下等を含む保税蔵置場の広さは約6,800㎡で、国際貨物の受入れに備えています。

そして、さらなる貨物需要に対応するため、国はターミナル地域整備基本計画を変更し、貨物地区の拡張を実施しました。今後は、フォワーダーの物流拠点として貨物ビルなどの建設も進められていく予定です（国による公募を実施中）。

②官民連携した空港機能の強化

2024年4月のヤマトグループとJAL

グループによる国内貨物定期便の就航に向け、国によるエプロンの拡充整備や弊社による新たな国内貨物上屋の整備が進められています。また、円滑なシーアンドエア輸送を可能とするための直線道路の整備が国により進められており、北九州空港の利活用推進に、官民が連携して空港機能の強化に取り組んでいます。

③滑走路延長による効果

北九州空港の貨物便については、これまで滑走路長の制限があり、近距離アジア路線の運航や、大型機の場合は輸入チャーター機の運航のみに限定されていました。

この状況を改善するため、2023年度から国の新規事業として北九州空港滑走路延長事業が着工されました（2027年8月末供用開始予定）。

滑走路が延長されることにより、大型貨物機による北米・欧州への直行便が運航可能となります。

④「スカイコネクトKKJ」の取組み

北九州空港物流拠点化推進協議会（事務局：北九州市空港企画課）では、九州・西中国地方の荷主企業や物流事業者など地域の皆様とともに、北九州空港の航空物流の好循環を生み出していく新たな取組みを開始しました。昨年秋季より同協議会の愛称を「スカイコネクトKKJ」とし、賛同いただけるサポート会員の募集を行っています。



貨物地区のインフラ

好循環を生み出す「スカイコネクトKKJ」の取組み



引き続き、各種支援制度による利用促進に取組み、地域の皆様に北九州空港を発着する貨物便を積極的にご利用いただくための活動を推進してまいります。

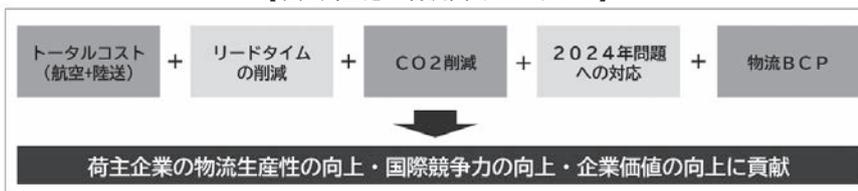
北九州空港を玄関口として世界とつながる貨物便ネットワークが充実することで、背後圏にある荷主企業の国際競争力が高まり、その関連企業や物流関連企業など、地域全体の経済が活性化し雇用拡大や新たな企業の立地も期待されます。

物流を取り巻く環境が大きく変化する中、北九州空港のポテンシャルを活かしながら、荷主企業や皆様にとって使いやすく利便性の高い空港を目指して、物流拠点化の取組みを力強く進めてまいります。

（北九州空港 HP

<https://www.kitakyu-air.jp>）

【北九州空港の物流面でのメリット】



あなたの 3 コードは？

～ JAF A 活動を支える皆様に、お仕事、経歴、趣味、ペット、故郷の自慢話、お勧めグルメ、これからの夢、得意のレア語学、今ハマっていること、推しの人、、、自由に、3点ほど語っていただきます。～



航空貨物運送協会 監事
国際空輸株式会社
堤 廣

JAF A の監事に就任して早15年、コロナ禍を含め業界の変化を実感しながら、気が付けば理事会メンバーで最年長の古株に。そして国内航空貨物業界一筋で半世紀、50年も経ちました。

私の3コードの一番目はフォワードの仕事は奥が深く、楽しく、最高だ。長年に渡り航空貨物の営業、開発に携わってきた結論です。最適物流システムの構築、高品質の輸送サービスの提供、お客様の困っていることへの提案、問題解決は我々の大事な役割であり、結果、お取引先のビジネス発展、商売繁盛に繋がると確信しております。

眼に見えない商品、航空輸送サービスを提案、販売する工夫、面白さをこの業界の若い方に理解、認知していただきたいと思えます。

私の大きな財産は北海道から沖縄まで全国の多く皆様と親しい人間関係が出来たことです。

3コードの2番目は皆様の関心が高いと思われる健康についてです。これからの人生を楽しく、明るく、そして認知症にならない秘訣、一、十、百、千、万をご紹介します。

私も懇親会やパーティの締めの挨拶でこの話を披露しますと急に静かになり、参加者全員が真剣に聞いてくれます。

それでは一は、一日一回大笑いすることです。人間笑うことで免疫力は高まり、病気の予防になるとのことです。笑う門には福来ると。私も池袋演芸場で大笑いしております。

十は一日に十人の人と必ず話することです。多く方と話をすることは間違いなく脳の活性化に繋がるとのことです。定年退職後に話し相手は奥様だけの方はリスク大です。

百は一日に百回大きく深呼吸することです。腰痛の改善、予防になる深呼吸は腕の上に伸ばし右手で左手の指先を持って

一日10回10セットで酸素が体中にいきわたります。

千は一日に手で千文字を書くことです。今、私もパソコンで文章を作成していますが、文明と便利さは人間の脳を徐々に退化させます。皆様も最近、漢字を忘れておりませんか。

最後に万ですが、皆様の予想通り、一日一万歩歩くことです。但し忙しい皆様は、最低5000歩でも健康効果は高いそうです。老化は足から。休日は散歩に出かけましょう。

3コードの最後は、人間の生きてる幸せ、それは美味しいものを食べることです。

当社は本社を12年前に隅田川が良く見える下町、江東区清澄に竣工いたしました。

そして、私の行きつけの下町の隠れた名店を特別にご紹介いたします。

お店の名前はどいち、美味しいうどんのお店で江東区常盤2丁目にあります。お勧めは肉玉3色うどん、青海苔付けうどん、そして日替わりうどんも大好評、特に金曜日のカレーうどんは絶品です。私はチーズ入りヒレカツ乗せが定番です。夜はお酒も飲めます。

日曜日、月曜日はお休みですので、土曜日に下町散歩はいかがですか。



航空貨物運送協会 国際交流委員会委員長
サンキュウエアロジスティクス株式会社
山崎 努

2019年6月より委員となり、昨年より委員長をさせて頂いております。

小職の3CODEは「仕事・地元愛・広州」の3つです。

出向元の山九㈱では長年、国際複合輸送担当部署にて海上混載事業を中心にNVOCCサービスの事業運営に従事しておりました。(最近ではこの「NVOCC」という言葉もほぼ「死語」になりつつやうで時代の変化を感じる「齢」になって来たやうです。)

自己啓発？会社命令？としてディプロマを取得した時期がありました航空貨

物での実務経験は全くなく、現職場社への辞令を聞いたときは、「どうしよう…」とはふと思いましたが、なんとかなるさあと、今は第二のサラリーマン人生創業中！と日々奮闘しております。

埼玉県東部、春日部市の出身です。社会人になるまで過ごしました。昔は「桐たんす・羽子板・麦わら帽子」で有名だと小学校で教わったのですが、市民以外は誰も知りません。

最近「春日部ナンバー」と「クレヨンしんちゃん」のお陰である程度知名度が上がりましたが、「あれ“はるひべ”って読むと思った」と未だに聞かれることがあります。

「春日部」ナンバーが出来た時は、これで越谷に勝った！と優越感に浸りました。春日部市民は越谷をライバルとみなしているのです。(勝手に私だけが思っているだけかもしれません。)最近のご当地ナンバーとして「越谷」もでき、越谷レイクタウンでブランド力もあがり、越谷やや優勢なのか？が気になるころです。この意味がお分かりなのは埼玉県東部にお住まいの方だけかと。その私も高校は越谷に通っていましたが…

大学で中国語を専攻しました。自然と

中国勤務ができそうな会社はどこかと探している会社に。事業内容もよく調べず応募しました。人事部には叱られますが、中国に事務所の数が多かったという理由だけです。(笑)ご内密に。

希望通り？1995年に広州駐在員事務所に異動になりました。当時は日本からの直行便はなく、香港経由で広州に。今こそ広州は国際都市としての容顔ですが当時はまだ地方都市の雰囲気でした。大学では中国の「普通語」つまり中国での「標準語」は勉強しましたが、職場や街中で使われているのは「広東語」。スタッフとは「標準語」で会話をしましたが、スタッフ同士は「広東語」なので職場でも「業務」の話なのか、単に「だべっている」のか聞き分けるのに時間がかかり苦労しました。

広州に約6年駐在しましたので広東語はある程度聞き取れるようにはなりましたが、マスターする気には至りませんでした。唯一覚えた広東語は「トイレは何処ですか？」理由は聞かずともお分かりですよ？

最後に、国際交流委員会として活動を通して協会及び支援していただいております会員様の事業発展のため、今後も委員会活動に努めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

新規会員紹介



ウィンロジスティクス株式会社 (正会員)



【代表者】南井 建一

【本 社】〒541-0041大阪府大阪市中央区北浜4丁目8番4号

【電 話】06-6484-5586 【URL】<https://www.win-logi.jp>

【事業内容】海上・航空貨物取扱、その他物流に関わるコンサルティング業務

ウィンロジスティクス株式会社は、世界各地の DOOR TO DOOR の最適物流スキームを提案させていただくグローバルフォワーダーとして2019年2月に設立致しました。日本国内は少子高齢化による市場縮小及び生産労働人口不足、世界では自由貿易の拡大や中国・東南アジア等新興国の経済発展、そしてIT技術の発展による新産業の創出といった様々な「変

化」が急速に進んでおります。さらに2020年には新型コロナウイルス感染症の蔓延により世界経済が激変し、物流環境も海上コンテナ不足、航空便減便といった想定外の事象が発生しておりました。当社はお客様へこのような「変化」に対し、早急なる情報提供を心掛けるとともに、お客様それぞれの環境「変化」に合わせた最適物流スキームを常時、継続提案することを

心掛けております。お客様への物流提案(コンサルタント)を通じて、社会の発展に貢献できる「必要とされる企業」を目指し、努力を続けてまいります。【Wide】広く・【Infinity】無限な・【Network】ネットワークの構築を継続し、最適なロジスティクスを提案することで、全てのステークホルダーがWIN-WINの関係を築けることを目指してまいります。



下関海陸運送株式会社 (準会員)



【代表者】代表取締役社長 米田 亘宏

【本 社】〒750-0066 山口県下関市東大和町1丁目5番22号

【電 話】083-266-1111 【URL】<https://www.sku01.com/>

【事業内容】貨物自動車運送業 貨物運送取扱事業 港湾運送事業 重量品貨物運送業

海運業・航空運送業の代理店業並びにその仲立業 倉庫業 通関業 鉄道貨物(コンテナ)取扱業務 荷造梱包業務 機械器具設置業務

下関海陸運送株式会社は1950年3月1日に地元下関で創業し、令和6年3月に創立74周年を迎えることができました。

当社は創業以来、常に「地域に貢献しながら共に発展する」という精神を掲げてまいりました。当社のビジョン「ともに、商流を創る」を掲げ、今後もお客様と共に未来を創り上げてい

く所存です。

現在、当社を含め業界全体において人手不足や2024年問題等、多くの課題に直面していますが、省人化や標準化などの手法を活用しつつ、安全性・信頼性・効率性の確保に努めてまいります。

また、当社は安全を最優先にし、基本を忠実に守りながら地域社会や環

境に配慮した持続可能な物流サービスを提供すると共に、「感謝と支え合いの物流」という理念の元、お客様とパートナーシップを築きながら、より良い未来の創造に全力を尽くしてまいります。そして、これからもお客様へ高品質なサービスを提供するための努力を重ねてまいります。



七海国際物流株式会社 (準会員)



七海国際物流 株式会社
Nanami International Logistics

【代表者】代表取締役 夏夢

【本 社】東京都中央区八丁堀3-5-8 京橋YAHATAビル3階

【電 話】03-5542-0860 【URL】<http://www.nanami-tyo.co.jp//>

【事業内容】第一種・第二種貨物利用運送、通関代行他

七海国際物流は2012年に設立以来、海上・航空輸送を問わず世界各地の代理店やフォワーダー、通関業者と連携し、東アジアを中心とした迅速かつ確かな貨物輸送サービスを国内外に提供しています。

主な品目としては機械類や化学品を筆頭に、植物や食品、美術品等の各

業界へ輸出入業務を展開し、幅広い物流経験とノウハウを武器に、各々に最適な流通を提案してまいりました。

直近では中国における支社の新設、及びWorld Cargo Allianceへの加入により、さらに多種多様なお客様の要望に対応していくことが可能となり、弊社のサービス専門性・効率の底上

げを実現しました。

国際物流が多様化・複雑化していく中で、よりニーズに即し、また輸出入者双方の期待に応えられる品質のサービスを提供できるよう、各所と連携し取り組んでまいります。

JAJA セミナー「物流 DX ～ NEC の取り組み事例の紹介～」について

3月21日(木)、日本電気株式会社スマート ILU 統括部より牛尾晋太郎氏、須賀宏平氏のご両名をお招きし、「物流 DX とは」そして「なぜ DX に取り組む必要があるのか?」という基本からご説明いただいた上で、会員各社の生産性の向上・効率化へのヒントとしていただくべく、日本電気株式会社の物流 DX への取り組み事例をご紹介します。会場参加5名、オンライン参加41名、合計46名の皆さんに受講いただきました。

(政策委員会)



委員会等活動報告

1月	11日	JAJA-BIAC 共同研究会	2024年 BIAC-JAJA 新年の集い開催
	15日	空港対策委員会	2024年度 活動方針と予算編成について、他
	15日	国際教育委員会	2024年度活動計画について、他
	16日～18日	国際教育委員会	CBTA 7.1 コース開催(東京地区)(17名合格)
	18日	広報委員会	副委員長互選、JAJA ニュース 129号(新年号)最終編集会議、新企画について、他
	19日	国際教育委員会/国内業務・教育委員会	CBTA 7.2 コース(21名合格)/国内危険物講習オンライン開催(37名参加)
	19日	保安委員会	2024年度 活動方針と予算について、他
	19日	JAJA-BIAC 共同研究会	2024年度 活動方針と予算編成について、他
	22日	国際業務委員会	2024年度活動計画、DGD の PDF 送信について、他
	22日～2月1日	国際教育委員会	IATA ディプロマ試験・基礎コース1月セッション開催(73名合格)
	23日～25日	国際教育委員会	CBTA 7.3 イニシャルコース開催(東京地区)(18名合格)
	29日	国際宅配便業務委員会	2023年度事業計画について、他
	29日	広報委員会	JAJA ニュース 129号(新年号)発行
	30日～31日	国際教育委員会	CBTA 7.3 リカレントコース開催(東京地区)(13名合格)
	2月	1日	政策委員会
2日		国内業務・教育委員会	2024年度活動方針・予算額決定、基礎講習会の企画立案、他
5日		国際交流委員会	2024年国際会議参加について、他
6日～8日		国際教育委員会	CBTA 7.3 イニシャルコース開催(東京地区)(9名合格)
9日		国際業務委員会	DGD の PDF 送信について、他
16日		国内業務・教育委員会	国内航空貨物危険物セミナー開催(講師:国交省・ANA Cargo)
21日		国際教育委員会	危険物自学習オンライン講習開催
26日		広報委員会	JAJA ニュース 130号(春号)掲載記事、記者懇談会、JAJA パンフレット更新、他
27日	保安委員会	A-2・CSD の統合・航空局訪問報告、KS/RA 制度の改正について、他	
29日	政策委員会	2024年度予算(案)及び事業計画(案)の承認、次期委員希望人数、他	
3月	4日	JAJA-BIAC 共同研究会	危険物パンフレット更新、危険物講習会、2024年度活動方針と予算編成、他
	5日	国際教育委員会	CBTA 7.1 コース開催(東京地区)(5名合格)
	8日	国際教育委員会/国内業務・教育委員会	CBTA 7.2 コース(6名合格)/国内危険物講習オンライン開催(31名参加)
	10日～14日	国際交流委員会	IATA World Cargo Symposiumへ2名参加(香港)
	11日	国際宅配便業務委員会	2023年度事業計画、2024年度事業計画について、他
	12日～14日	国際教育委員会	CBTA 7.3 コース開催(東京・大阪開催)(35名合格)
	15日	国際教育委員会	2024年度国際基礎講習会について、他
	18日～19日	国際教育委員会	CBTA 7.3 コース開催(東京・大阪開催)(15名合格)
	19日	国内業務・教育委員会	基礎講習会のテキスト及び講義資料の改訂、危険物セミナーのレビュー、他
	21日	政策委員会	JAJA セミナー「物流 DX について～NEC の取り組み事例の紹介～」開催
	22日	通関業務・情報合同委員会	日本通関業連合会訪問報告、国際基礎講習会講師、関税局との意見交換会、他
22日～4月1日	国際教育委員会	IATA ディプロマ試験・基礎コース3月セッション開催(79名合格)	
27日	保安委員会	航空局・BIAC・IATA との4者協議(A-2・CSD 統合、KS/RA 制度改正進捗)、他	

IATA World Cargo Symposium 開催

2024年度 IATA World Cargo Symposium が香港で開催され、国際交流委員会と JAJFA 事務局より各1名が参加いたしました。IATA World Cargo Symposium (WCS) は、航空貨物業界の中でも最大級の規模で開催されており、今回は約1,950人の関係者が香港に集まり、Digitalization、Sustainability、Safety & Security の3つの主要なテーマにつき最新情報の共有が図られました。

3月12日に開催された開会式では、香港政府特別財務長官のポール・チャン氏、香港空港管理局会長のジャック・ソー氏や、キャセイ最高経営責任者のロナルド・ラム氏の挨拶の後、IATA 貨物グローバル責任者のブレンダン・サリバン氏が、「かつてはパンデミックの状況の中、航空貨物の関係者は力を合わせて医療用品やワクチンを必要な場所に届けたが、昨今では、航空貨物輸送が、紅海の航路に代わる重要な選択肢にもなっている」点等に言及し、続いてサステナビリティ上級副社長兼チーフエコノミストのマリー・オーエンス・トムセン氏から、将来を見据えたサステナビリティと経済見通しについての説明がありました。

また、絶え間なく、ダイナミックに変動している航空貨物マーケットの現状、航空貨物業界に従事する人材、E-コマースや、デジタル化の促進等に焦点を当てたパネルディスカッションも開催されました。

3月13日は、Digitalization、Sustainability、Safety & Security の3つの主要なテーマが、各セッションに分かれて開催されました。

• Digitalization では、キャセイパシフィック航空貨物からの組織の中でデジタル化をどのように統合したかに関する講演



や、デジタル化に関する専門家の意見等、複数の講演が行われました。また、ONE Record の導入に関する専門家とのパネルディスカッション、動物輸送におけるデジタル化の役割や、デジタル化が業務をどのように変革するか等の講演もありました。

• Sustainability では、最新の航空貨物業界の戦略や CO₂ ゼロ排出に向けた業界の道のり、使い捨てプラスチック改善への取り組み等の講演が行われました。

• Safety & Security では、耐火コンテナと防火封じ込めカバーや ULD の維持と基準や動物の安全な輸送に関する講演規制などについて意見交換がありました。

なお、今回の会議では、開会式に先立って、3月11日に CBTA Center Conference が開催され、CBTA センタープログラムの振り返りや今後の取組内容や来年の優先事項等が話し合われました。

来年の IATA WCS は、ドバイで開催される予定であり、新たな Technology や Innovation 等に関するワークショップやパネルディスカッションが実施される予定です。

(国際交流委員会)

